

今月の題字写真 >>>

蠟梅

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA TOSABORI
OSAKA Y.M.C.A. CROSS CULTURAL CENTER
1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU, OSAKA, JAPAN, 550-0001
<http://osaka-tosabori.wix.com/tosaboriys>
CHARTERED JUNE 5th 1951



2020~2021 年度 岩原 義則 会長主題

A man keeps cherishing his old knowledge,

so as continually to be acquiring new.

(温故知新)

主題

- 国際会長 “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” (価値観、エクステンション、リーダーシップ) Jacob Kristensen (デンマーク)
- アジア太平洋地域会長 “Make a difference” 「変化をもたらそう」 David Lua (シンガポール)
- 西日本区理事 “Let's do it now !”
2022 に向けて誇りを持って All is well. 古田 裕和 (京都トウビー)
- 中西部部長 “ワイズの力を信じて、自ら行動しよう” 吉田 由美 (大阪なかのしま)

< TOF GS FF >

強調
テーマ

一人一人の思いが、環境を守り、命を救います。
全ての献金を忘れずに、ご協力をお願いいたします。 藤好 基子 地域奉仕・環境事業主任 (大阪なかのしま)

聖句

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、みつかる。
門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」 マタイによる福音書 7 章 7 節

2021 年 2 月ブリテン巻頭言

福島 眞一

本を読むことが大変好きです。文庫本をいつも持ち歩いていました。あるとき、いつものペースより読む量が減っていることに気がつきました。なぜかと考えると、実は老眼が進んでいたことが原因だったのです。それから、老眼鏡を掛けて読んでいます。今まで読んだ本の中で一番感動した本は、渡辺淳一の初期の作品で「光と影」と言う本です。彼は 50 年前の 1970 年に直木賞をこの本で受賞しています。

西南戦争の田原坂の戦闘で、同じく腕に銃撃を受けた 2 人の大尉のその後の人生の物語が書かれています。腕を負傷した 2 人は、大阪にあった臨時病院に運ばれました。その当時、銃撃で負傷した腕は切り落とすのが治療法でした。しかしながら、軍医がたまたま読んでいたドイツの医学書に載っていた腕を保存する方法を 1 人の手術で試したのです。陸軍の学校で同期だった 2 人の運命に大きな違いが始まったのです。優秀だった小滝大尉の腕はなくなり、退役を余儀なくされました。もう 1 人の寺内大尉の腕は不自由で

も繋がったことで陸軍に残ることになりました。寺内大尉は後に内閣総理大臣になった寺内正毅です。学校でも軍隊でも寺内大尉より優秀であった小滝大尉はその後、友人の出世を自分の無い腕を眺めながら、なぜ彼の腕が残り私の腕が無くなったのかを自問自答しながら生きていく事になります。その人生が生き生きと描かれています。こんなはずでは無かった。もしもがあれば、彼より良い人生が送れたはずだ。20 才だった私は、こんなことがあるのだと、深く考えさせられました。

人生には自分の努力だけで解決しない理不尽な事がたくさんあって、でも生きていかなければなりません。何が正解なのかは未だに良く分かりませんが、与えられた中で努力し頑張っていくことなのでしょう。

断捨離で本箱の本を順番に捨てていますが、この本は 50 年たった今も、本箱の片隅に立てかけてあり、時々取り出して読んでいます。

報告者 ・ 川岸 清

1 月 例 会 報 告

新年を迎えたが新型コロナが猛威を振るい、緊急事態宣言下での1月例会、さすがに「年の初めを寿ぐ」気分ではない。中西部の評議会と日程がかぶってしまったこともあり、Zoomによるこの例会への参加者はメン5名(奥田、奥野、丹吾、福島、川岸)、メネット1名(和田)、計6名という少人数でした。司会の私、当初は「なんとも淋しい例会になってしまったなあ!」との思いでしたが、会の進行と共に雰囲気盛り上がり、和やかになっていくのを感じました。

今月の聖句「新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れねばならない。」(ルカによる福音書5:38)について選者の岡野メンは、その聖句の関連で新旧の選択に触れ、新旧それぞれの価値を見極めることの重要性を述べた。その際、紹介されたアメリカの神学者ニーバーの祈りの1節は心に留めておくべき内容なので、再度、この紙面に記しておきたい。

“神よ、変えるべきものを変える勇気を、そして、変えられないものと変えるべきものを区別する賢さを与えて下さい。…”

福島書記からのインフォメーションとして、2月予定のチャリティーボーリング大会の中止、使用済み切手の回収は次年度まわしとすること、諸献金、2月例会のことなどがあり、詳細は1月26日の役員会で確認すること、司会者からYMCA ニュースとして、1、2月の早天祈祷会中止の件、2月24日(水)前後の「ピンクシャツ デイ」への協力依頼などが報告されました。

本題のワークショップは岡野メンがファシリテーターとして進行、先ず、12月例会での丹吾メンによる学びを復習。今回は「土佐堀クラブとSDGs」とのテーマに沿って次の3つのワークのうち「ワーク1.

日 時： 2021年1月23日(土) 14:00~15:30

場 所： オンライン Zoom

内 容： ワークショップ「土佐堀クラブとSDGs」
ファシリテーター：岡野泰和メン

これまで取り組んできた活動をふりかえる」を行い、各自、思いつくことを話し合いました。「ワーク2. これらの活動をSDGsとしてとらえる」「ワーク3. これからの活動を考える」については来月の例会で行うということになりました。ワーク1. では、これまでの取組みとして「うなぎの森」「留学生援助」「とさぼりサマーセミナー」「家庭菜園」「各種献金」その他が挙げられましたが、今回欠席のメンバーからもっと種々の例が挙げられるだろうと、期待されています。

1月は誕生日、結婚祝いなどの該当者がいないので、「ニコニコ」の時間に余裕ができ、例会参加者各自から近況報告がゆっくりなされました。いずれもコロナ下での様々な時間利用、健康維持への工夫、感染防止のための緊張の日々、…etc.が話されました。

本例会を終えての感想ですが、少人数の参加ながら時間の経過とともに交わりの楽しさを豊かに感じる事ができたこと、特に久しぶりに奥田メンが元気な姿を見せてくださったことが嬉しかったです。丹吾副会長が開会と閉会の挨拶を岩原会長に代わってなされたことも新鮮に感じました。開会時のワイズソング、久しぶりに歌いましたが、恥ずかしながら歌詞を一部、間違い失礼しました。閉会時の「YMCAの歌」、これも久しぶりに1節、3節を歌い、自分がYMCAに連なっている喜びを感じました。和田メネットの生の演奏、

歌い手も気分良くなりますね!併せて、福島メンのハーモニカも是非、近い将来に聴かせてほしいなと思った次第です。

(2021年1月23日 記)

報告者 ・ 福島 真一

1 月 役 員 会 報 告

日 時： 2021年1月26日(火) 19:00~21:20

場 所： オンライン Zoom 役員会

出席者：岩原、岩田、岡野、川岸、工藤、小路、丹吾、福島、和田メネット(敬称略)

【報告事項】

- 1.1月例会 報告 日時：1月23日(土) 14:00~15:30
会場：オンライン例会 (Zoom)
プログラム：ワークショップ パート1 “土佐堀クラブとSDGs” ファシリテーター 岡野ワイズ
出席者：メン5名(敬称略) 岡野、奥田、川岸、丹吾、福島
メイキャップ4名 岩原、岩田、工藤、小路 メネット：1名
和田早苗メネット ニコニコ：0円 トスファンド：0円
感想：ワークショップの1回目として、土佐堀クラブの歩みとSDGsについて議論した。時間が少なく、突っ込んだ議論は無かったが、最初の取り組みとしては大変良かった。次回からの、発展に期待したい。
2. 会計報告
 - ・後期会費の支払い要請。前後期共にまだの人も。
 - ・献金(カーニバル・クリスマスコンサート・クリスマス献金) 30,000円支払った。
 - ・区からの請求書分とメネット基金の請求書が会長に来ているので、確認の上会計から支払う。
 - ・今期は支出が少ないので、どうするかを6月例会時頃に打合せをする。
3. 事業の中止など ・チャリティーボーリング大会 中止
4. 中西部評議会について 工藤ワイズ 別途記載(6ページ)
5. その他 川岸ワイズから、台北セントラルクラブに年賀状を出した報告があった。

【協議事項】

- 1.2月例会：2月20日(土) 14:00~15:30
会場：オンライン例会 (Zoom) 会費：0円
内容：ワークショップ パート2 “土佐堀クラブとSDGs”
ファシリテーター 岡野ワイズ
岡野ワイズから例会開催の1週間前頃にワークショップのためにすべき事項がメールされるので、皆さん協力してください。2月は、ピンクシャツデーなので皆さん、出来るだけピンクシャツの着用を!
担当班：B班 岩田、工藤、小坂井、丹吾、只野
司会：工藤、聖句：和田メネット、TOS ファンドオークション：未定
- 2.3月例会
日時：3月16日(火) 18:00~20:30・・・未定
会場：大阪YMCA会館101号室 チャペル 会費：500円
内容：未定
3. 今期下半期例会の予定と内容について 未定
4. BFの切手について ・基本的には来年度に繰り越す。(工藤ワイズが持っていた分については1月23日に提出)
5. 2月24日(水)前後の「ピンクシャツ デイ」について
・2月20日の例会時に出来る方は、ピンクシャツを着用する。
6. その他

1月例会出席者数		1月例会出席率		B F		ニコニコ		TOS ファンド	
メンバー	5名	会員例会出席者	5名	切手	0pt	11月分	2,700円	11月分	5,000円
広義・功労会員	0名	メイキャップ	4名	現金	0pt				
メネット	1名	合計	9名						
コメント	0名	現会員数	13名						
ビジター・ゲスト	0名	出席率対象	10名						
出席者合計	6名	出席率	90.0%	今期合計	pt	今期合計	40,900円	今期合計	14,200円
								残高合計	1,289,001円

トントン・インタビューです

No.20

柿島 裕さん

新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言が発出されているさなか、梅田のシャンデリアテーブルでインタビューしました。小さい時のこと、大学時代の事、働いていたPHPでのこと、ワイズのことをたくさん話して頂きました。楽しい時間を持つことが出来ました。

好きな言葉は何ですか？

“人生に起きることには全て意味がある。”です。

小さい時のことを教えてください。(新潟の出身ですか?)

新潟市の中心部にあった三越百貨店のすぐそばで生まれ育ちました。一人っ子でおとなしいシャイな子どもでした。6歳の時、34歳だった父親が心臓麻痺で突然他界し、幼いながらも死について考えるようになりました。小学校の時は星を見るのが好きで将来は浮き世離れた学者である天文学者になりたかったです。いわゆる弱い子どもだったので強くなりたいと思い、小4の時から剣道を始め、中三の時には市内大会で3位に入賞しました。進学した新潟高校の剣道部ですぐにレギュラーになり、高1で2段でしたが高2の合宿を病欠してレギュラーから外されたことで挫折し、剣道は高校で卒業しました。

大学では何を勉強されたのですか？

関西学院の文学部に進学し人文地理学を専攻しました。父親が好きだった山の写真を幼いころから見ていた影響で、山に憧れ体育会のワンダーフォーゲル部に入りました。関学のイメージとかけ離れた厳しいクラブで随分しごかれたお蔭で冬山にも行ける力がつきました。当時、小田実の“何でも見てやろう”を愛読していて、4年生の時、1年間休学しバックパッカーでユーラシア大陸を一周しました。シベリヤ鉄道経由でヨーロッパに入り、イギリスでは各国の学生が集うイチゴ農場、ノルウェーでは敬虔なクリスチアンの農家に住み込みミクの餌やりというアルバイトを経験しました。その後、南下しタイではホームイン革命に遭遇、アフガニスタンでは軍隊に拉致され、兵舎で一泊するといういまだから言えるような危ない経験もしました。ネパールではアンナプルナ山群を1か月かけて1人で一周しましたが、峠(5500m)で一時露営し雪盲で4日間目が見えなくなるなど大変な経験もして、ネパール人に助けられて無事帰還することができました。1日1日が珠玉の思い出となる貴重な10か月半でした。

PHPに勤められていましたが、どんな仕事でしたか？

大学で地理の勉強をしていたので、社会科の先生になろうと新潟県を始め色々受験しましたが上手くいかず、当時PHP誌が愛読書だったのでPHP研究所を受験して内定をもらい、1980年4月に入社しました。松下幸之助さんが創設し現役の社長の会社で、入社2年後結婚しました。PHPでは出版の仕事では無く、松下経営哲学の研修の企画や実施の仕事をしました。35歳の時、学生時代から憧れていた青年海外協力隊で、ネパールの大学で地理学を教えるというまたとない職種を偶然に見つけ受験したところ内定をもらいましたが、周りの反対で断念しました。子どもが3人いましたし、会社からも引き留められました。当時の社長から海外に興味があるならとシンガポールの子会社行きを打診され、1年後に家族連れでシンガポールに赴任しました。子どもは、3歳・5歳・8歳でした。日本的経営のノウハウを指導するビデオ教材などの販売が主な仕事で東南アジア中を飛び回ってよく働きましたが、インドネシアで生野菜を食べたことが原因で腸チフスになって入院したりして4年後41歳の時に帰国しました。ところが53歳の時に再びシンガポールに行くことになり今度は単身で赴任しました。しかし結局55歳の時にPHPが海外から事業撤退することになり帰国。しばらくは日本から世界中に出張し、国際事業を続けてい



ましたが、それも終止符を打ち、最後の3年間は経営者対象の国内普及活動を担当して60歳で退職しました。今は公益社団法人アジア協会アジア友の会(JAFS)で事務局次長として働いて4年になります。学生時代に海外放浪から帰った1979年に朝日新聞に載っていたJAFSがインドで井戸を掘る活動をしている記事と出会い、22歳の時に入会し今まで続いています。

ワイズメンズクラブに入られたきっかけは何ですか？また、いつはいられたのですか？

1997年、JAFSの創設者で専務理事の村上公彦氏がシンガポールに来られた時、新たにJAFSの提携先となったエドワード・オンさん(前ワイズメンズクラブ・アジア地域会長)と3人で食事をする機会があり初めてエドワードさんと知り合いました。2度目のシンガポール赴任をした2009年、エドワード・オンさんはメソジスト系の教会で温かく迎えてくれました。教会に毎週通う内に誘われてシンガポールαチャプターに入会しましたが、残念ながら撤退により半年後に帰国しました。2年後の2013年にエドワードさんが日本に来た時にシンガポールαチャプターのIBCだった大阪西クラブとの食事会に私も呼ばれました。皆さん良い方達だったのでその場で入会を決めました。現在入会7年目で会長も2年間やりました。大阪西クラブはJAFSの団体会員でもあり国際協力をサポートしています。

新型コロナウイルス感染症で大変なことになっています中、今回国際・交流主査に就任されましたが、どうですか？

やはり活動は制約されていて、上手くいっていません。大阪西クラブでは、例会をオンライン(ZOOM)で、DBCのクラブとLineで情報交換などを行っています。コロナのおかげで新しい形の交流も少しずつできるようになりました。

ご家族について教えてください。

高槻市に住んで31年。子どもは男の子3人でみな独立し、昨年初孫が生まれました。

新型コロナウイルス感染症の流行の中、どのように過ごされていきましたか。

JAFSに毎日通勤し、事務局で国内での国際協力活動など様々な仕事をしています。会議は減っていますが、オンラインのセミナーを企画したりしています。(JAFSのホームページをご覧ください)

いつも前向きに行動されている姿の原点を知ることが出来たのでは無いかと思いました。これからのワイズ活動での活躍を期待しています。プリテン委員長 福島眞一

報告者・岩田 晋
ボランティア活動報告(韓国の例)

岩田晋ワイズが2020年12月14日と21日に大阪YMCA国際専門学校で行った「韓国と日本のボランティアの違い」についての講義をご紹介します。



12月14日(月)と21日(月)の午後、YMCA国際専門学校の授業で「ボランティア」について話をしました。とは言え、私はボランティアなるものを専攻したわけでもありません。従って、理論的なことはさておき、私が韓国留学中に現地体験したボランティアのことをパワーポイントで約60分間話しました。国際専門学校の学生が受講生で、アジアの国々から来日していますが、留学生は日本語が流暢であり、講義も日本語で進めました。来日したものの、コロナ禍のため母国へ帰ることが出来ず、さりとて日本でのアルバイト先も思うようには出来ない留学生も多くいます。私の韓国留学は6年間でしたが、この間、日本では考えられないような韓国特有のボランティアを種々経験し、考えさせられました。

(1)【キムジャンのキムチ漬け込み】韓国ではキムチは必需品です。晩秋になると一年の一大行事「キムジャン」が始まり、各家庭は言うまでもなく、様々なところでキムチ漬けが始まります。冬の到来を実感する季節です。キムジャンとは所謂キムチ作りのことを言うのですが、これに対する韓国人の熱意はものすごいものを感じます。学校・企業・公共機関などではボランティアが集まってキムジャンに取り組みます。この漬け込みの規模たるや中途半端ではなく、圧倒されます。

(2)【練炭配達】そして、しばらくすると、今度は練炭配達が始まりますが、これにも諸団体が積極的に参加します。韓国の冬は猛烈に寒く、暖房なしでは生活することが出来ません。このため練炭をオンドルの燃料に使うオンドルという床暖房方法が昔から普及し、練炭は「冬の必需品」です。世帯の諸事情のため、練炭購入が難しい世帯にはボランティアが人力で練炭を届ける「愛の練炭分かち合い」が韓国の随所で繰り返されます。例えば都市の場合、クルマで高台住宅地へ行けない場合が多く、こんな時は狭い坂道にボランティアの人が並び、手渡して練炭を届けるのです。私もこのボランティア活動には幾度も参加し、体が煤だらけになったものの、練炭を受け取る世帯人の嬉しそうな顔は到底忘れられません。しかも、私が通学していた大学の総長が先頭に立って練炭手渡しをする姿に驚きました。これら(1)(2)は年中行事のようなもので毎年決まって行なわれます。

(3)【海面汚染防衛の手作業】オイル輸送貨物船が黄海で座礁し、オイルが海上に洩れ出し、水産業界が大きなダメージを受けそうになった時、忠清道のワイズメンから連絡があり、海面のオイルを手作業で掬い取るという、想像を絶する作業への要請でした。新聞紙や布切れなど、オイルを吸い取るものを全て利用して海面のオイルを除去する手作業ですが、地元のワイズメンはもちろん、多くの人がこのオイル除去作業で汗を流しました。丁度、所用があつて、忠清道の町へ行った時の話です。

これらはほんの一例ですが、日本のボランティア活動との差異を痛感しました。とにかく、ボランティアをするために集まる人の多さにはビックリです。



エンヤラ、エンヤコラと練炭運び(ソウル)



キムチ作りは、その量の多さに驚く(大田)



流れ出したオイルによる海水汚染を防がんと人海作戦(保寧)

その留学の前の「初めてのIBC訪問」



新型コロナの感染は減少を見せるどころか、想像を絶する勢い。ワイズメンズクラブやYMCAの諸行事が様々な点で蹉跎を見せていますが、こんな状況下にならうとは誰も予想できなかったことでしょう。一日も早く通常の状態に戻ることを願っていることは誰も同じことです。私もご多分に漏れず「家籠り」になることが多くなりましたが、これまでに溜まった写真やUSBデータの整理に取りかかっています。

「かなりあるだろうな！」と覚悟はしていたものの、いざ始めて始めてみると、そのボリュームの多さに仰天しています。とは言え、在職中の写真などは殆どなく、大半がワイズに関するもの、そして定年退職後に経験した韓国留学時代のものばかり。USBに至っては70本近くもあり、今更ながらに自分の「整理不感症」を痛感しています。

さて、その数ある写真やUSBをひっくり返しながらか、もう一度見ると、ああ、こんなことも、あんなこともあったのだと思い、三十数年前に思いを馳せること屢々です。

昨年来、コロナ感染問題で土佐堀クラブのIBC交流は全く出来ませんでした。IBC交流の端緒とでも言えそうな写真が出て来ました。1984年春に私がYMCA会員になり、土佐堀クラブのメンバーになりましたが、「秋には韓国ソウルで国際大会があるから、経済的な価格で韓国に行けるよ」との甘い言葉に誘われての入会でした。当時、私の職場はYMCA会館に至近の場所にあり、YMCAに足を運ぶには絶好の立地でした。まだ、YMCA会館が建て替えになる以前の旧館でしたが、ホテルもある古色蒼然とした趣のある建物でした。肥後橋駅近くにはYMCA国際奉仕センターがあり、丁度、韓国語教室が開かれたので、そこへ通うようになりました。「韓国への夢多き青年」であった私は、国際大会に出席しましたが、当時のIBC・ハンバットクラブが、当時の国際会長竹内ワイズおよびIBC土佐堀クラブの歓迎会を兼ねた例会とし、私達は列車でソウルから大田へ向かいました。韓国語の勉強を始めて、まだ間もない頃のこと、現地で経験するあれこれに目を丸くしたことを記憶しています。土佐堀の参加メンバーは今村・藤原・北村・川久保の諸先輩、そして私でした。この国際大会を契機に多くの韓国ワイズと知り合い、私の韓国留学へと繋がって行きます。ソウル聖愛クラブ、大田ハンバットクラブ、済州三多クラブのことは終生忘れられません。

70周年記念エッセイ

祝☆☆☆土佐堀クラブ創立70周年

6月に大阪土佐堀クラブはチャーターから70年になります。昨年8月のプリテンから皆さんの思い出をリレー形式で掲載しています。今月は工藤義正ワイズです。

No.7 工藤 義正 ワイズ

大阪西クラブ設立と西YMCA

1983年春から土佐堀YMCA会館の建替え工事が始まり、会館に繋がっていたYMCAホテルも同時に取り壊され、翌年、新しい土佐堀会館が完成しました。ホテルはクラブが発足して以来、長い間ホームグラウンドとしてメンバーに親しまれ、私にとっても僅か2年間でしたが、今でもホテル2階集會室を思い出します。壁が厚重な板張り、由緒あるゴルフ場のクラブハウスの様な空間での例会は刺戟たっぷりな非日常の世界でした。

翌年、新会館の建替え工事が終了し、例会場は西九条から土佐堀に戻りました。ただ、土佐堀のYMCA会館という入れ物は新しくなったのですが、以前あったYMCA活動の拠点ではなく、会員活動の場は西YMCAでした。西YにはYスタッフと会員で構成された運営委員会と小委員会として地域活動委員会などがあり、畠平さん、藤原さん、柏原さんなど土佐堀クラブの先輩メンバーも多く関わっておられ、ある時、私も誘われて委員会に出席するようになりました。

西YMCAでは会員と地域の人たちも参加する「西Yまつり」(とさぼりカーニバルの前身)や今も続いている「わいわいこどもげきじょう」などYMCAの外に向かったのイベントを実施することを楽しみました。中でも11月の「西Yまつり」のバザーは大人気で、建物入口前の道路に開館前早くから人々が長蛇の列を作り、近隣の店から苦情も出るほどの賑わいでした。



建替前のYMCAホテル 例会場にて 各会長左から
第4代 会長 1954年 杉本恭之助
第9代 会長 1959年 緒方惟之
第7~8代 会長 1957・58年 三原博直
第3代 会長 1953年 立身揚一
立身さん、杉本さんはチャーターメンバー(創立時からの会員)緒方さんは幕末、適塾の緒方洪庵のご子孫で 晩年奈良の学園前に住んでおられました。



そんな状況の中、メンバー数51名の土佐堀クラブは自然な流れで、西Yを拠点として大阪ベイエリアに新クラブ設立に向け動き出しました。1985年10月から翌86年5月までに9回の準備委員会、4回の仮例会を持ち、1986年5月18日、午前中YMCA会館で設立総会を執り行いました。

実はこの日は午後の35周年記念例会がメインで、IBC5クラブからの18名も入れて計285名の参加がありました。香港ビクトリアクラブとはこの記念例会でIBC締結を行いました。アトラクションの目玉は桂枝雀さんの英語落語「時蕎麦」で海外からのゲストも大いに楽しめたことを覚えています。

結局、私は当日の昼前に伊丹空港へ着く香港の会長夫妻を迎えに行ったため、設立総会には出席できず、夜もIBCナイトがあり本当に大忙しの1日でした。この時の枝雀さんの英語落語がきっかけで、クラブ会長を担った87年度、西クラブさんと共同主催で「ワイズ寄席」をスタートしました。会場は西YMCA、年4回開催で毎回、若手の落語家さん4名が出演、入場無料、おまけに食事券などが当たるお楽しみ抽選付きで、地域の人々も大勢こられ大盛況でした。終了後は毎回、出演の皆さんと西九条界隈で懇親会を持ちました。このイベントは5年間続き、ワイズとYMCAが協力した地域活動の楽しい思い出となっています。

心なにかに
ワイズ寄席
第1回

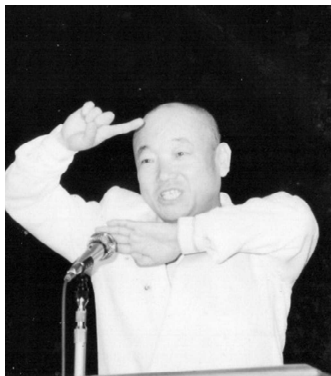
日時 8月28日(金)6時30分~
8時30分

場所 大阪西YMCA 3F

出演者 及び 演題

桂 勢 朝	阿 弥 池 池
桂 谷 緋	相 撲
桂 米 川	香 霧
松 嶋 家 範	漫 談

入場無料 おまけ合せの上おこし下さい。
茶 僚 大阪土佐堀ワイズメンズクラブ
大阪西ワイズメンズクラブ
後 援 大阪西YMCA
TEL 466-1166 (JR西九条駅一か)



第1回 「ワイズ寄席」のお知らせチラシ
35周年の枝雀さんの写真

2021

February

TOSABORI

MONTHLY

MEETING

PROGRAM

＜ワークショップ＞

日時：2021年2月20日（土）14:00～15:30

普段と曜日・時間が違います

会場：ウェブ（ZOOM）での開催

司会：工藤義正メン

担当：B班 岩田、工藤、小坂井、丹吾、只野

- | | | |
|-----------------------------|----------|----------|
| 1. 開会宣言・点鐘 | | 岩原義則会長 |
| 2. ワイズソング | オルガン | 和田早苗メネット |
| 3. メネット紹介 | | 司会者 |
| 4. 聖句朗読・メッセージ | | 和田早苗メネット |
| 5. インフォメーション | | 福島眞一書記 |
| 6. YMCAニュース | | 小路清一担当主事 |
| 7. ワークショップ“土佐堀クラブとSDGs”パート2 | ファシリテーター | 岡野泰和メン |
| 8. TOS ファンドオークション | | 未定 |
| 9. 誕生日・結婚記念日 | | 岩原義則会長 |
| 10. ニコニコ | | 司会者 |
| 11. YMCAの歌 | オルガン | 和田早苗メネット |
| 12. 閉会宣言・点鐘 | | 岩原義則会長 |

※例会の出欠は、書記福島までご連絡下さい。

WEB例会ご欠席の方には例会中にお電話で近況をお伺いします。可能な時間帯を欠席連絡の際にお伝えください。

ゲスト・ビジターの方の参加も事前に連絡して下さい。

※新型コロナウイルス感染予防のため、ウェブ（ZOOM）で開催します。ID、パスコードは別途参加者にお知らせします。体調がすぐれない場合は、迷わずに欠席して下さい。録画したものを、第二例会・役員会までの間会員限定でウェブに公開します。URLはメーリングリストでお知らせします。期間内に見られなかった方で希望される方は相談してください。

○ワイズソング・お誕生日の歌・YMCAの歌は、和田早苗メネットの素晴らしい演奏です。

報告者 ・ 工藤 義正

第3回中西部評議会報告

1月23日（土）午後2時からYMCA会館10階教室で第2回中西部評議会が開催され、事業主査として出席いたしました。全国的に新型コロナの感染を考慮してZOOMとの併用で開催されました。

議案審議では前回第2回評議会の議事録承認ほか下記3つの議案が協議されました。

①吉田部長提案の来期における次期部長（2022～23）として我が土佐堀クラブの福島眞一ワイズが推薦され、全会一致で承認されました。次々期部長のホームクラブとして福島ワイズを支えましょう。

②未決定だった来期（2021～22）の中西部書記として清水 汎（大阪クラブ）が推薦され、全会一致で承認されました。次期中西部役員（部長と三役）は下記の通りです。

部長：牟 大盛（大阪）、書記：清水 汎（大阪）
会計：北村知三（大阪）事務局長：石津雅人（大阪センテニアル）

③中西部 吉田部長と工藤地域奉仕・環境事業主査提案の中西部としてこの4月に「清掃・ゴミ拾い事業」展開の件について。

この件は国際会長からの提唱を踏まえ、藤好地域奉仕・環境事業主任の発信に応じての発信を受け、部として取り組めないかという呼び掛けですが、現在のコロナ状況を考慮して、協議の結果、今回は保留し提案者で再度検討する。

議案審議の後、各事業主査、クラブ会長の報告その他がありました。



▽ 今後の予定 ▽

— 2月 —

- | | |
|------------------------|-------|
| 6日(土)チャリティーボウリング (中止) | |
| 20日(土)クラブ例会 (14:00～) | WEB開催 |
| 23日(火)第二例会・役員会(19:00～) | WEB開催 |
| 23日(火)ブリテン委員会(19:30～) | WEB開催 |

— 3月 —

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 16日(火)クラブ例会(18:00～)土佐堀YMCA又はWEB開催 | |
| 23日(火)第二例会・役員会(19:00～) | WEB開催 |
| 23日(火)ブリテン委員会(19:30～) | WEB開催 |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



YMCAニュース

1, 新型コロナウイルス感染症拡大への対策のため、1月・2月の早天祈禱会を中止いたします。ご理解、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

2, 2/6(土)に予定していましたが「チャリティーボウリング大会」について、中止が決定

3, 2/24(水)、この日を含む前後数日 ピンクシャツデー